

## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 ジーエルテクノホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 255A URL <https://www.gltechno.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 長見 善博  
問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理本部長（氏名） 麻田 俊弘（TEL）03-4212-6677  
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	21,383	—	2,846	—	3,225	—	2,160	—
2025年3月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,087百万円（—％） 2025年3月期中間期 ー百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年3月期中間期	円 銭 165.54	円 銭 —
2025年3月期中間期	—	—

（注）当社は、2024年10月1日に共同株式移転により設立されたため、前年中間期実績及び対前年中間期増減率はありません。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期中間期	百万円 60,498	百万円 45,169	% 74.7
2025年3月期	58,375	44,406	76.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 45,169百万円 2025年3月期 44,406百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 107.00	円 銭 107.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	111.00	111.00

（注）1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は2024年10月1日に共同株式移転により設立されたため、前期の第2四半期までの実績はありません。

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,700	3.3	6,680	5.3	6,760	2.0	4,810	18.3	368.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 2 社 (社名) 技尔 (上海) 実験器材有限公司、TECHNO QUARTZ VIETNAM CO., LTD.  
(注) 技尔 (上海) 実験器材有限公司の社名は中国語簡体字を含んでいるため、JIS第二水準漢字で代用しております。

- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	13,681,230株	2025年3月期	13,681,230株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	616,070株	2025年3月期	640,651株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	13,052,864株	2025年3月期中間期	一株

(注) 当社は2024年10月1日設立のため、前年中間期の株式数は記載しておりません。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
  - ・決算補足説明資料は、T D n e t 及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

当社は2024年10月1日に共同株式移転の方法によりジーエルサイエンス株式会社及びテクノオーツ株式会社を株式移転完全子会社とする株式移転設立完全親会社として設立されたため、前中間連結会計期間に係る記載はしておりません。

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで)におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や個人消費の底堅さ、雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調を維持しました。一方で、不安定な国際情勢を背景とした原材料価格・エネルギー価格の高騰による影響に加えて、米国政府による通商政策等の懸念も生じ、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境下におきまして、当社グループは、中期経営計画(2025年3月期～2027年3月期)に基本方針として掲げた「持続的な成長への戦略投資」「事業競争力を重視した成長戦略」に基づき、目標達成に向けて生産能力増強や営業力強化等に取り組んでおります。

この結果、当中間連結会計期間の売上高につきましては、21,383百万円となりました。損益につきましては、営業利益 2,846百万円、経常利益 3,225百万円、親会社株主に帰属する中間純利益 2,160百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (分析機器事業)

分析機器事業におきましては、景気の先行きや国際情勢が不透明な状況が続いている中でも安定した売上高を確保することができました。

国内の装置類に関しては、自社装置の売上が軟調だった一方で、PFAS分析用としても需要が高まっている質量分析計の販売が好調でした。消耗品につきましては、液体クロマトグラフ用カラムだけでなく、固相抽出カートリッジやガスクロマトグラフ用部品類などの幅広い製品群において、売上高は堅調に推移しました。

海外においては、主力製品である液体クロマトグラフ用カラムを中心に、ガスクロマトグラフ用カラムや固相抽出カートリッジ、固相抽出関連装置等も含めた自社製品の拡販活動を展開しておりますが、中国経済の停滞及び北米における需要減少等の影響を受け、一部の製品群の売上高が伸び悩みました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は 8,989百万円、営業利益は 643百万円となりました。

#### (半導体事業)

半導体業界では、生成AI関連製品の需要が拡大している一方で、パソコンやスマートフォン、自動運転向けの需要は依然として鈍く、市場全体として上向くのは2026年以降となる見込みです。

以上のような環境の中、当事業におきましては、今後に向けた新規需要の掘り起こしや競争力強化のため、高付加価値製品の開発と拡販によるマーケットの拡大、国内外での増産体制構築の準備を行い、さらなる成長に備えております。市場環境の変化に伴い、受注残高は通常の水準に戻りつつありますが、これまでの受注を踏まえ、売上高は堅調に推移しました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は 11,474百万円、営業利益は 2,162百万円となりました。

#### (自動認識事業)

自動認識事業におきましては、化学物質管理システムや物品管理用UHFシステム等の導入・販売が順調に進み、売上高は堅調に推移しました。

製品分類別では、住居関連施設やビル施設向けにおける需要減少が続いており、「機器組込製品」と「完成系製品」につきましては売上高が伸び悩みました。その一方で「自動認識用その他」においては、各種システム案件の他、住居向け特注ICタグ販売も順調に推移しました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は 919百万円となりました。損益につきましては、利益率の低い案件が多かったことに加えて、将来の事業拡大を見据えた人材面への投資増の影響もあり、営業利益は 25百万円となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### (資産の状況)

当中間連結会計期間末の流動資産は、売掛金が減少した一方、現金及び預金が増加したことにより 35,486百万円(前連結会計年度末に比べ 1,145百万円の増加)となりました。固定資産は、有形固定資産その他が減少した一方、建物及び構築物や投資有価証券が増加したことにより 25,011百万円(前連結会計年度末に比べ 977百万円の増加)となりました。その結果、資産合計では 60,498百万円(前連結会計年度末に比べ 2,123百万円の増加)となりました。

### (負債の状況)

当中間連結会計期間末の流動負債は、短期借入金が増加し 10,738百万円(前連結会計年度末に比べ 848百万円の増加)となりました。固定負債は退職給付に係る負債が減少した一方、長期借入金やその他が増加したことにより 4,589百万円(前連結会計年度末に比べ 511百万円の増加)となりました。その結果、負債合計では 15,328百万円(前連結会計年度末に比べ 1,360百万円の増加)となりました。

### (純資産の状況)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、資本剰余金や為替換算調整勘定が減少した一方、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことにより 45,169百万円(前連結会計年度末に比べ 762百万円の増加)となりました。自己資本比率は 74.7%となりました。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,897,107	9,876,235
受取手形	290,245	303,250
電子記録債権	3,078,024	2,694,652
売掛金	9,706,644	8,508,302
商品及び製品	2,738,824	3,111,830
仕掛品	4,111,486	4,085,390
原材料及び貯蔵品	5,696,573	6,259,020
その他	825,841	650,192
貸倒引当金	△3,328	△2,275
流動資産合計	34,341,419	35,486,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,321,842	8,217,823
土地	5,137,685	5,137,685
その他（純額）	6,208,255	5,490,783
有形固定資産合計	18,667,783	18,846,292
無形固定資産	636,679	838,343
投資その他の資産		
投資有価証券	3,603,807	4,344,944
退職給付に係る資産	517,102	533,532
その他	608,768	448,883
貸倒引当金	△376	△376
投資その他の資産合計	4,729,302	5,326,983
固定資産合計	24,033,764	25,011,619
資産合計	58,375,184	60,498,219

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	372,330	21,280
電子記録債務	1,082,260	1,421,565
買掛金	1,999,100	2,027,824
短期借入金	2,596,945	3,411,200
未払法人税等	954,763	892,615
賞与引当金	848,924	941,882
役員賞与引当金	-	40,899
返金負債	220,694	328,092
その他	1,815,089	1,653,516
流動負債合計	9,890,108	10,738,876
固定負債		
長期借入金	2,536,028	3,040,293
役員退職慰労引当金	1,925	3,536
退職給付に係る負債	363,072	15,440
その他	1,177,101	1,530,568
固定負債合計	4,078,127	4,589,838
負債合計	13,968,236	15,328,715
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	9,849,136	8,521,401
利益剰余金	31,744,646	33,905,456
自己株式	△75,754	△72,911
株主資本合計	41,818,027	42,653,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,302,869	1,809,392
土地再評価差額金	△315,086	△315,086
為替換算調整勘定	1,570,649	990,583
退職給付に係る調整累計額	30,487	30,668
その他の包括利益累計額合計	2,588,920	2,515,557
純資産合計	44,406,948	45,169,503
負債純資産合計	58,375,184	60,498,219

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	21,383,694
売上原価	14,049,976
売上総利益	7,333,717
販売費及び一般管理費	4,487,111
営業利益	2,846,606
営業外収益	
受取配当金	75,393
為替差益	77,658
保険返戻金	191,214
不動産賃貸料	50,098
その他	53,280
営業外収益合計	447,646
営業外費用	
支払利息	27,477
不動産賃貸原価	32,536
その他	8,369
営業外費用合計	68,384
経常利益	3,225,868
特別利益	
固定資産売却益	378
特別利益合計	378
特別損失	
固定資産除却損	16,319
特別損失合計	16,319
税金等調整前中間純利益	3,209,927
法人税、住民税及び事業税	1,020,012
法人税等調整額	29,105
法人税等合計	1,049,117
中間純利益	2,160,810
親会社株主に帰属する中間純利益	2,160,810



中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2,160,810
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	506,522
為替換算調整勘定	△580,066
退職給付に係る調整額	180
その他の包括利益合計	△73,362
中間包括利益	2,087,447
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	2,087,447

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)
	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	3,209,927
減価償却費	846,734
のれん償却額	15,120
賞与引当金の増減額(△は減少)	92,957
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△929
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,611
受取利息及び受取配当金	△79,211
支払利息	27,477
固定資産売却損益(△は益)	△378
固定資産除却損	16,319
売上債権の増減額(△は増加)	1,473,688
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,062,691
仕入債務の増減額(△は減少)	39,999
その他	△329,444
小計	4,251,180
利息及び配当金の受取額	78,960
利息の支払額	△28,558
法人税等の支払額	△1,079,636
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,221,945
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△215,597
定期預金の払戻による収入	215,515
有形固定資産の取得による支出	△1,270,833
有形固定資産の売却による収入	378
無形固定資産の取得による支出	△282,867
投資有価証券の取得による支出	△1,202
貸付金の回収による収入	7,348
その他	298,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,249,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△477,705
自己株式の取得による支出	△84
リース債務の返済による支出	△26,826
配当金の支払額	△1,392,715
短期借入金の純増減額(△は減少)	595,281
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102,050
現金及び現金同等物に係る換算差額	108,353
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,979,046
現金及び現金同等物の期首残高	7,391,363
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,370,409

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	分析機器事業	半導体事業	自動認識事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,989,214	11,474,683	919,797	21,383,694	—	21,383,694
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33	1,366	35,439	36,838	△36,838	—
計	8,989,247	11,476,049	955,236	21,420,532	△36,838	21,383,694
セグメント利益	643,442	2,162,080	25,424	2,830,947	15,659	2,846,606

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去243,591千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△227,932千円が含まれております。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、経営管理区分の変更に伴い、従来「その他」に区分しておりましたグループ運営事業、管理業務受託事業等について、「調整額」の区分に含めて表記しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。